



人口	479,400人 (+231)
男	232,651人 (+138)
女	246,749人 (+93)
世帯数	165,765 (+159)
住民基本台帳による。()は前月比	

赤い羽根共同募金に



ご協力を

赤い羽根共同募金運動が今年から始まっています。国民総参加のため、今年度の運動も今年度四十五年度、運動の初日の十月一日には古町十字路で長谷川市長らも募金(の)協力をお願いしました(の)専断II。

この運動は、戸別募金をはじめ、職場や学校、街頭テレホンカードなど、さまざまな場を通じて展開されています。だれもが気軽に参加できる福祉活動として、赤い羽根共同募金運動にご協力ください。



「みりのりの秋」ベタベタベタもももも

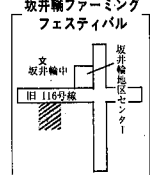
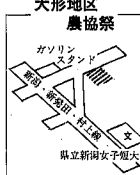
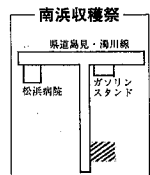
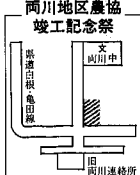
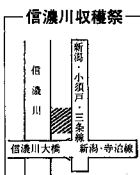
私たちの暮らしの基となる食。そしてそれを支える農業。都市化の進む新潟市で、郊外に一步出ると農地が広がり、収穫の風がみりのりの秋を感じさせてくれます。この季節ならではの備し、農林水産業フェスティバルと収穫祭で市の農業にふれてみてはいかがでしょうか。

フェスティバルと収穫祭で体感する

にいがたのみりのりの秋

新潟市の農業という、開発されて農地が減少しているというイメージを抱きかかっています。そんな数字をご存じですか?

市の面積の約3割が農地で、野菜は県内一位の生産額を誇っているのです。専業農家は県内二位ですが、畑の面積では一位。農家の意欲が高く、単位面積当たりの収穫量も高水準にあります。生産量県内一の農産物は、ダイコン、カブ、ハクサイ、イチゴ、スイカ、パレシヨ、ネギなど数多く、そのほかセンターリッパの球根なども県内一位です。



農業に適した砂丘地が多く、大浦漁場に近くなど地理的条件にも恵まれているのが市の農業の特徴。生産物は県内はもとろん関東、東北、北海道にも出荷でき、全国の農業の中でも安定した地位を占めています。近年農業問題がよく話題に上りますが、それは農業の重要性が認められている証です。食生活と食文化を守り発展させるために、まず消費者と生産者がお互いを知り合うことがより大切になってきています。

市では今年もおなじみの農林水産業フェスティバルを開催。また市民がオーナーになり生産者が栽培、オーナーが収穫する市民ランドを中心、各地区で収穫祭が開かれ、楽しい催しがいろいろあります。どうぞおこしください。

問い合わせ 農林課 内線 2555番

農林水産業フェスティバル
十月二十日午前10時～午後2時半
市体育館

「就学時健康診断通知書」を発送

来年四月に小学校へ入学するお子さんを対象に、入学にさきがけ、就学時健康診断を行います。

対象 昭和六十一年四月一日から六十一年四月一日までに生まれたお子さんです。

診断をお子さんは全員、この健康診断を受けてください。

就学時健康診断通知書 入学前に必要と手続きを行って

第23回市美術展

(併催：第22回市美術協会展)

会期 11月1日～11月10日午前9時～午後4時※(初日は午前9時半から、最終日は午後3時まで。11月5日は休館)

会場 市美術館 (入場無料)
作品の搬入 洋画・日本画・彫刻・工芸部門は10月26日、書道・版画・写真部門は10月27日の午前10時～午後4時半に会場へ
問い合わせ 文化振興課 (☎内線 2153番) へ

◎信濃川収穫祭 曾野木 十一月二日午前10時半～午後一時 信濃川大橋下流側
◎両川地区農協竣工記念祭 十一月十日午前10時半～午後二時 両川中学校隣り

収穫祭が楽しみ



私たちの学校は自然に恵まれた環境の中にあります。学校には、五アールぐらいの田んぼと二・七アールぐらいの畑があります。春には、全校で田植えをします。秋には、全校で収穫を行います。秋に収穫したお米は、お世話になった地域の方々を招いて、もちつき大会を行ないます。畑ではおともいも(こし、さつまいも)、大根空豆を育てています。一生涯懸命世話をしたお米と空豆、汗を流すことで、勤労の大切さや喜び、小さな思いやりもあちらこちらで見られるようになりました。野球部は、読売野球の県大会で優勝しました。明るく活気があふれた学校です。

きょう13日交通安全フェスティバル

藤谷美紀シヨ、クイズなどで楽しい一日を会場 プラールキリシヤ広場、遊とびあ

健康診断を受けることができないう場合は、早めに学校に相談ください。

外国籍のお子さんを希望される方は、「外国人登録証明書」と「印鑑」をお持ちのうえ学校指導課へおいでください。お問い合わせ 保健給食課 第二分館三階内線2128番 (☎)

市役所・市教育委員会 ☎228-1000 (代表)

野球場 テニスコートの申し込み...266-8111
園芸センター...266-1034
園保健康所...243-6311
石山地区保健センター...286-4450
鳥屋野地区保健センター...285-2373
北地区保健センター...259-7332
西保健康所...266-6171
西地区保健センター...262-3405
坂井輪地区保健センター...260-3255

休日診療(市医師会・歯科医師会)
休日急患診療センター...228-2822
休日歯科診療センター...283-3030

ダイアルQ
トラパル情報・相談

ダイアルQのトラパルによる情報や相談、お気軽にご相談ください。
階級 ☎228-18100
市消費生活センター (市役所第一分館) ☎228-1000

台風19号による被害に 災害住宅資金を融資

住宅金融公庫では、台風19号で10万円以上の住宅被害を受けた人に災害復興住宅の補修資金等の融資を行っています。
受付期間 災害発生の日から2年間
融資限度額 木造住宅...490万円、耐火住宅...540万円 ※補修以外の建設、新築・中古住宅の購入の場合は別途
金利 年5.3%
返済期間 木造住宅・耐火住宅ともに20年以内
※補修資金の融資に、リ災証明書が必要です。市交防防災課で発行しますので申し出てください。
申し込み、問い合わせ 「住宅金融公庫 業務取扱店」と表示してある金融機関へ